

| 実施計画事業名 | | メモリアル事業 | | 評価対象年度 | 平成 22 年度 | | | |
|-------------|---|-------------------------|-----------------|--------------------|--------------|--------|------|--|
| 評価担当部署 | | 建設産業部 観光交流課 | | 課長(主幹)名 | 齋藤 修 | | | |
| 総合計画体系 | 分野 | 0 | 地域経営(自治) | | | | | |
| | 政策 | 1 | 持続可能な地域社会づくり | | | | | |
| | 施策 | 1 | まちに にぎわいを取り戻します | | | | | |
| | 関連施策 | | | | | | | |
| 現状と課題 | 先人の足跡や過去の歴史を再認識すると共に、市民共有の財産として学び伝え、交通の結節点(北の要衝)として、将来に向けた新たな稚内の創造に資するため、市民と協働して多くの事業を展開し、地域の活性化に繋げる。 | | | | | | | |
| 目的 | 市制60年を迎えるに当たり、先人たちの歴史的偉業に着目し、それらを検証するイベントの企画を通じて、市民にわがまちを再認識してもらおうとともに、観光施策への展開を図る | | | | | | | |
| 5ヶ年展開の | 稚内市では、2008年に市制施行60年・稚内港開港60年を迎え、この年を中心に、2007年(H19)から2011(H23)年までの間に歴史上の節目(周年)を迎える出来事が数多くあることから、稚内市メモリアル事業として、各種事業を展開する。 | | | | | | | |
| 成果指標 | 名称 | | 単位 | | 21年度 | 22年度 | 25年度 | |
| | イベントに参加した人数 | | 人 | 目標 | 27,000 | 37,600 | - | |
| 説明 | メモリアル事業として実施した各事業に参加した人の合計 | | | 実績 | 33,934 | 73,060 | | |
| 活動指標 | 名称 | | 単位 | | 21年度 | 22年度 | 25年度 | |
| | 実施したイベント数 | | 回 | 目標 | 11 | 4 | - | |
| | 説明 | メモリアル事業として実施した各イベントの合計数 | | | 実績 | 12 | 5 | |
| | | | | 目標 | - | - | - | |
| | 説明 | | | | 実績 | | | |
| | | | | 目標 | - | - | - | |
| | 説明 | | | | 実績 | | | |
| | | | | 目標 | - | - | - | |
| 説明 | | | | 実績 | | | | |
| 事業費の実績 | | 単位 | 21年度 (決算) | 22年度 (評価年度決算見込) | 23年度 (予算) | 備考 | | |
| | 直接事業費(A) | 千円 | 28,807 | 28,511 | 27,605 | | | |
| | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 道支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 起債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 247 | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 28,807 | 28,511 | 27,358 | | | |
| この事業にかかる職員数 | 人/年 | 2.58 | 2.79 | 2.79 | | | | |
| 人件費(B) | 千円 | 17,869 | 18,947 | 18,947 | | | | |
| 計(A+B) | 千円 | 46,676 | 47,458 | 46,552 | | | | |
| 状況変化 | 実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 | | | | | | | |

【1次評価】

| | |
|--|---|
| 成 果 | 成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) |
| | a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 成果・活動指標ともに目標値を大幅に上回ることができた。特に「稚内みなと南極まつり50回記念事業」では、南極おどりの復活や干発多く打ち上げた「大花火大会」により、参加見込を18,230人上回る53,630人であった。また、新砕氷艦しらせの寄港をメインとした「南極探検100周年記念事業費補助事業」では、道内外からもファンが訪れ参加者数も17,233人を数え、報道などでも取り上げられるなど大きな成果を上げることができた。実施事業は、ほかに「林蔵ウォークinわっかない2010」「NHKのど自慢開催」「日口友好会館落成30周年記念事業」の5事業。 |
| 細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方 | 細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか |
| | a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> |
| 各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか | a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> |
| | 無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか |
| コスト効率 | a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> |
| 総合評価 | A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 平成23年度は、メモリアル事業最終年にあたるため、「日本最北端の地の碑建立50周年記念事業」として当初、九州最南端の佐多岬から稚内の宗谷岬までEVカーを使用しての「日本列島縦断の旅」という壮大な企画を予定していたが、東日本大震災の状況を考慮して中止にせざるを得なくなった。最終年に相応しいものにするため、事業内容の見直しを早急に進める。 |

【2次評価】

| | | | | | | | |
|------|--|--------|----------|---------|----------|-------|----------|
| 成 果 | a | 細事業の構成 | a | 細事業の進め方 | a | コスト効率 | a |
| 総合評価 | A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。 | | | | | | |

【内部評価委員会】

| | |
|----|--|
| 意見 | |
|----|--|